

「今」大切なことを、大切に

いなざわ
稲沢・
ろくわ
六輪小PTA



かつてのPTA役員たちが、「六輪っ子たちのために、わたしたち大人ができること」を模索し、実を結んだ「働くことを学ぶ会」は、令和4年度で9回目を迎えました。4年生を対象に、保護者や地域のかたが自らの職業を説明し、働くことの楽しさややりがいを伝えます。昨年度は介護士や助産師、消防士、デザイナー、飲食店店員、武道家など、多様な職種が集まりました。3年生で学んだ「働く人」をより身近に感じ、「夢」の幅をぐっと広げる貴重な学びの場となっています。

また、コロナ禍にありながらも、従来の「あたりまえ」を打破し、かたちを変えることで続けてきた活動もあります。「カルチャー教室」では大学生によるサイエンスショーを、「六輪学級」では助産師による性教育「いのちの授業」を、親子参加で実施しました。PTA伝統のあいさつ運動も、毎年さまざまな工夫をしながら継続し、六輪っ子のはじける笑顔を引き出しています。今後も六輪っ子の成長のために、柔軟な発想で、楽しんで活動していきます。



あいさつ運動に駆けつけた「いなっぴー」は子どもたちの人気者。笑顔あふれる挨拶で、気持ちよく1日をスタートさせました。



「働くことを学ぶ会」は毎年12月に、キャリア教育の一環として4年生が参加します。身近な大人の「働く人の顔」に、子どもたちは引き込まれていきました。



コロナ禍により実施困難となった社会見学に代えて実施したサイエンスショーには、定員をはるかに超える親子が集まり、不思議な科学の世界を体感しました。



学校DATA

所在地●稲沢市平和町塩川52 児童数●240人 周辺環境●明治6年開校。令和5年度に開校150周年を迎えた。自ら「感じる・考える・行う」ことを大切に、なにごとにも探究心を抱き、主体的に学び合う六輪っ子の育成を目標としている。

学校サイト

